

令和元年度
一般会計 財務4表

貸借対照表

(令和2年3月31日現在)

自治体名: 常総市

会計: 一般会計等

(単位: 円)

科目名	金額	科目名	金額
【資産の部】		【負債の部】	
固定資産	72,619,114,843	固定負債	32,883,678,083
有形固定資産	65,434,007,143	地方債	28,249,204,139
事業用資産	25,269,553,446	長期未払金	-
土地	11,654,021,699	退職手当引当金	4,533,763,000
立木竹	-	損失補償等引当金	20,654,000
建物	29,514,120,820	その他	80,056,944
建物減価償却累計額	△ 16,576,948,916	流動負債	3,264,443,783
工作物	2,504,983,282	1年内償還予定地方債	2,737,514,181
工作物減価償却累計額	△ 1,846,371,439	未払金	-
船舶	-	未払費用	-
船舶減価償却累計額	-	前受金	56,800,000
浮標等	-	前受収益	-
浮標等減価償却累計額	-	賞与等引当金	260,277,817
航空機	-	預り金	209,851,785
航空機減価償却累計額	-	その他	-
その他	-	負債合計	36,148,121,866
その他減価償却累計額	-	【純資産の部】	
建設仮勘定	19,748,000	固定資産等形成分	75,875,741,843
インフラ資産	39,881,096,980	余剰分(不足分)	△ 34,633,403,286
土地	2,798,399,495		
建物	3,461,682,907		
建物減価償却累計額	△ 1,917,935,603		
工作物	87,352,281,369		
工作物減価償却累計額	△ 52,104,101,848		
その他	-		
その他減価償却累計額	-		
建設仮勘定	290,770,660		
物品	988,587,686		
物品減価償却累計額	△ 705,230,969		
無形固定資産	4,179,600		
ソフトウェア	4,179,600		
その他	-		
投資その他の資産	7,180,928,100		
投資及び出資金	4,001,527,899		
有価証券	-		
出資金	3,999,135,000		
その他	2,392,899		
投資損失引当金	-		
長期延滞債権	191,298,186		
長期貸付金	533,210,873		
基金	2,487,276,551		
減債基金	-		
その他	2,487,276,551		
その他	-		
徴収不能引当金	△ 32,385,409		
流動資産	4,771,345,580		
現金預金	1,117,992,706		
未収金	123,612,503		
短期貸付金	13,376,000		
基金	3,243,251,000		
財政調整基金	2,552,422,000		
減債基金	690,829,000		
棚卸資産	286,962,000		
その他	-		
徴収不能引当金	△ 13,848,629		
資産合計	77,390,460,423	純資産合計	41,242,338,557
		負債及び純資産合計	77,390,460,423

行政コスト計算書

自 平成31年4月1日
至 令和2年3月31日

自治体名: 常総市
会計: 一般会計等

(単位: 円)

科目名	金額
経常費用	21,048,881,837
業務費用	10,451,972,564
人件費	3,706,759,049
職員給与費	3,256,402,091
賞与等引当金繰入額	260,277,817
退職手当引当金繰入額	△ 55,090,000
その他	245,169,141
物件費等	6,299,355,808
物件費	3,783,832,722
維持補修費	242,275,000
減価償却費	2,273,248,086
その他	-
その他の業務費用	445,857,707
支払利息	219,095,365
徴収不能引当金繰入額	46,234,038
その他	180,528,304
移転費用	10,596,909,273
補助金等	3,184,846,002
社会保障給付	4,429,298,525
他会計への繰出金	2,936,960,720
その他	45,804,026
経常収益	725,957,522
使用料及び手数料	194,651,701
その他	531,305,821
純経常行政コスト	20,322,924,315
臨時損失	240,497,829
災害復旧事業費	-
資産除売却損	217,678,829
投資損失引当金繰入額	-
損失補償等引当金繰入額	10,078,000
その他	12,741,000
臨時利益	62,920,939
資産売却益	61,347,777
その他	1,573,162
純行政コスト	20,500,501,205

資金収支計算書

自 平成31年4月1日

至 令和2年3月31日

自治体名:常総市

会計:一般会計等

(単位:円)

科目名	金額
【業務活動収支】	
業務支出	18,771,956,424
業務費用支出	8,175,047,151
人件費支出	3,758,856,901
物件費等支出	4,031,929,149
支払利息支出	219,095,365
その他の支出	165,165,736
移転費用支出	10,596,909,273
補助金等支出	3,184,846,002
社会保障給付支出	4,429,298,525
他会計への繰出支出	2,936,960,720
その他の支出	45,804,026
業務収入	20,717,008,910
税込等収入	15,736,165,264
国県等補助金収入	4,279,619,853
使用料及び手数料収入	192,243,138
その他の収入	508,980,655
臨時支出	-
災害復旧事業費支出	-
その他の支出	-
臨時収入	-
業務活動収支	1,945,052,486
【投資活動収支】	
投資活動支出	1,612,155,561
公共施設等整備費支出	1,560,819,686
基金積立金支出	44,335,875
投資及び出資金支出	-
貸付金支出	7,000,000
その他の支出	-
投資活動収入	466,547,248
国県等補助金収入	345,933,226
基金取崩収入	38,732,889
貸付金元金回収収入	20,533,356
資産売却収入	61,347,777
その他の収入	-
投資活動収支	△ 1,145,608,313
【財務活動収支】	
財務活動支出	2,785,596,203
地方債償還支出	2,771,468,507
その他の支出	14,127,696
財務活動収入	2,000,168,000
地方債発行収入	2,000,168,000
その他の収入	-
財務活動収支	△ 785,428,203
本年度資金収支額	14,015,970
前年度末資金残高	894,124,951
本年度末資金残高	908,140,921
前年度末歳計外現金残高	200,052,932
本年度歳計外現金増減額	9,798,853
本年度末歳計外現金残高	209,851,785
本年度末現金預金残高	1,117,992,706

純資産変動計算書

自 平成31年4月1日
至 令和2年3月31日自治体名:常総市
会計:一般会計等

(単位:円)

科目名	合計	固定資産等形成分	余剰分(不足分)	
前年度末純資産残高	41,505,681,265	76,972,109,772	△ 35,466,428,507	
純行政コスト(△)	△ 20,500,501,205		△ 20,500,501,205	
財源	20,382,026,383		20,382,026,383	
税収等	15,756,473,304		15,756,473,304	
国県等補助金	4,625,553,079		4,625,553,079	
本年度差額	△ 118,474,822		△ 118,474,822	
固定資産等の変動(内部変動)		△ 951,500,043	951,500,043	
有形固定資産等の増加		1,560,819,686	△ 1,560,819,686	
有形固定資産等の減少		△ 2,490,926,915	2,490,926,915	
貸付金・基金等の増加		327,472,559	△ 327,472,559	
貸付金・基金等の減少		△ 348,865,373	348,865,373	
資産評価差額	-	-	-	
無償所管換等	△ 144,867,886	△ 144,867,886		
その他	-	-	-	
本年度純資産変動額	△ 263,342,708	△ 1,096,367,929	833,025,221	
本年度末純資産残高	41,242,338,557	75,875,741,843	△ 34,633,403,286	

令和元年度
全体会計 財務4表

貸借対照表

(令和2年3月31日現在)

自治体名: 常総市

会計: 全体会計

(単位: 円)

科目名	金額	科目名	金額
【資産の部】		【負債の部】	
固定資産	101,020,014,774	固定負債	50,707,256,070
有形固定資産	97,139,349,590	地方債	41,324,429,998
事業用資産	25,286,081,446	長期未払金	-
土地	11,670,549,699	退職手当引当金	4,910,178,000
立木竹	-	損失補償等引当金	20,654,000
建物	29,514,120,820	その他	4,451,994,072
建物減価償却累計額	△ 16,576,948,916	流動負債	4,481,888,589
工作物	2,504,983,282	1年内償還予定地方債	3,761,426,622
工作物減価償却累計額	△ 1,846,371,439	未払金	135,256,703
船舶	-	未払費用	-
船舶減価償却累計額	-	前受金	56,800,000
浮標等	-	前受収益	-
浮標等減価償却累計額	-	賞与等引当金	287,721,385
航空機	-	預り金	209,851,785
航空機減価償却累計額	-	その他	30,832,094
その他	-	負債合計	55,189,144,659
その他減価償却累計額	-	【純資産の部】	
建設仮勘定	19,748,000	固定資産等形成分	104,277,987,774
インフラ資産	70,232,941,310	余剰分(不足分)	△ 52,259,105,244
土地	4,339,750,746		
建物	8,510,858,119		
建物減価償却累計額	△ 5,271,922,498		
工作物	135,086,317,477		
工作物減価償却累計額	△ 72,736,913,194		
その他	-		
その他減価償却累計額	-		
建設仮勘定	304,850,660		
物品	4,898,213,598		
物品減価償却累計額	△ 3,277,886,764		
無形固定資産	5,088,129		
ソフトウェア	4,179,600		
その他	908,529		
投資その他の資産	3,875,577,055		
投資及び出資金	105,866,899		
有価証券	-		
出資金	103,474,000		
その他	2,392,899		
投資損失引当金	-		
長期延滞債権	433,467,259		
長期貸付金	533,210,873		
基金	2,895,123,736		
減債基金	-		
その他	2,895,123,736		
その他	-		
徴収不能引当金	△ 92,091,712		
流動資産	6,188,012,415		
現金預金	2,257,675,138		
未収金	420,910,181		
短期貸付金	14,722,000		
基金	3,243,251,000		
財政調整基金	2,552,422,000		
減債基金	690,829,000		
棚卸資産	286,962,000		
その他	-		
徴収不能引当金	△ 35,507,904	純資産合計	52,018,882,530
資産合計	107,208,027,189	負債及び純資産合計	107,208,027,189

行政コスト計算書

自 平成31年4月1日
至 令和2年3月31日

自治体名: 常総市
会計: 全体会計

(単位: 円)

科目名	金額
経常費用	35,387,322,592
業務費用	14,890,458,301
人件費	4,117,679,328
職員給与費	3,569,635,969
賞与等引当金繰入額	287,721,385
退職手当引当金繰入額	△ 9,984,000
その他	270,305,974
物件費等	9,936,952,652
物件費	6,203,901,570
維持補修費	264,292,858
減価償却費	3,468,758,224
その他	-
その他の業務費用	835,826,321
支払利息	478,430,431
徴収不能引当金繰入額	126,287,616
その他	231,108,274
移転費用	20,496,864,291
補助金等	16,005,490,994
社会保障給付	4,436,293,101
他会計への繰出金	-
その他	55,080,196
経常収益	2,444,948,008
使用料及び手数料	1,738,951,978
その他	705,996,030
純経常行政コスト	32,942,374,584
臨時損失	240,497,830
災害復旧事業費	-
資産除売却損	217,678,830
投資損失引当金繰入額	-
損失補償等引当金繰入額	10,078,000
その他	12,741,000
臨時利益	62,920,939
資産売却益	61,347,777
その他	1,573,162
純行政コスト	33,119,951,475

資金収支計算書

自 平成31年4月1日

至 令和2年3月31日

自治体名: 常総市

会計: 全体会計

(単位: 円)

科目名	金額
【業務活動収支】	
業務支出	31,607,499,454
業務費用支出	11,110,635,163
人件費支出	4,112,130,404
物件費等支出	6,354,315,911
支払利息支出	478,430,431
その他の支出	165,758,417
移転費用支出	20,496,864,291
補助金等支出	16,005,490,994
社会保障給付支出	4,436,293,101
他会計への繰出支出	-
その他の支出	55,080,196
業務収入	33,351,216,008
税込等収入	20,252,352,594
国県等補助金収入	10,953,769,620
使用料及び手数料収入	1,594,060,956
その他の収入	551,032,838
臨時支出	-
災害復旧事業費支出	-
その他の支出	-
臨時収入	-
業務活動収支	1,743,716,554
【投資活動収支】	
投資活動支出	1,776,121,712
公共施設等整備費支出	1,672,829,166
基金積立金支出	94,205,546
投資及び出資金支出	-
貸付金支出	9,087,000
その他の支出	-
投資活動収入	1,001,813,848
国県等補助金収入	879,983,826
基金取崩収入	38,732,889
貸付金元金回収収入	21,749,356
資産売却収入	61,347,777
その他の収入	-
投資活動収支	△ 774,307,864
【財務活動収支】	
財務活動支出	3,806,490,008
地方債償還支出	3,792,362,312
その他の支出	14,127,696
財務活動収入	2,979,068,000
地方債発行収入	2,979,068,000
その他の収入	-
財務活動収支	△ 827,422,008
本年度資金収支額	141,986,682
前年度末資金残高	1,905,836,671
本年度末資金残高	2,047,823,353
前年度末歳計外現金残高	200,052,932
本年度歳計外現金増減額	9,798,853
本年度末歳計外現金残高	209,851,785
本年度末現金預金残高	2,257,675,138

純資産変動計算書

自 平成31年4月1日
至 令和2年3月31日自治体名: 常総市
会計: 全体会計

(単位: 円)

科目名	合計	固定資産等形成分	余剰分(不足分)	
前年度末純資産残高	53,014,084,770	106,439,535,223	△ 53,425,450,453	
純行政コスト(△)	△ 33,119,951,475		△ 33,119,951,475	
財源	32,269,558,551		32,269,558,551	
税金等	20,333,715,578		20,333,715,578	
国県等補助金	11,935,842,973		11,935,842,973	
本年度差額	△ 850,392,924		△ 850,392,924	
固定資産等の変動(内部変動)		△ 2,016,738,133	2,016,738,133	
有形固定資産等の増加		1,783,016,802	△ 1,783,016,802	
有形固定資産等の減少		△ 3,788,614,525	3,788,614,525	
貸付金・基金等の増加		858,306,163	△ 858,306,163	
貸付金・基金等の減少		△ 869,446,573	869,446,573	
資産評価差額	-	-	-	
無償所管換等	△ 144,809,316	△ 144,809,316		
その他	-	-	-	
本年度純資産変動額	△ 995,202,240	△ 2,161,547,449	1,166,345,209	
本年度末純資産残高	52,018,882,530	104,277,987,774	△ 52,259,105,244	

令和元年度
連結会計 財務4表

連結貸借対照表

(令和2年3月31日現在)

自治体名:常総市

会計:連結会計

(単位:円)

科目名	金額	科目名	金額
【資産の部】		【負債の部】	
固定資産	110,440,136,599	固定負債	52,691,183,284
有形固定資産	105,778,462,533	地方債等	42,702,035,763
事業用資産	32,067,911,179	長期未払金	-
土地	12,374,227,026	退職手当引当金	5,516,499,449
土地減損損失累計額	-	損失補償等引当金	20,654,000
立木竹	-	その他	4,451,994,072
立木竹減損損失累計額	-	流動負債	4,802,633,433
建物	37,093,863,941	1年内償還予定地方債等	4,021,059,403
建物減価償却累計額	△ 19,216,456,685	未払金	135,256,703
建物減損損失累計額	-	未払費用	-
工作物	6,478,777,515	前受金	56,800,000
工作物減価償却累計額	△ 4,683,458,125	前受収益	-
工作物減損損失累計額	-	賞与等引当金	346,464,600
船舶	-	預り金	212,220,633
船舶減価償却累計額	-	その他	30,832,094
船舶減損損失累計額	-	負債合計	57,493,816,717
浮標等	-	【純資産の部】	
浮標等減価償却累計額	-	固定資産等形成分	113,887,874,646
浮標等減損損失累計額	-	余剰分(不足分)	△ 54,156,649,502
航空機	-	他団体出資等分	-
航空機減価償却累計額	-		
航空機減損損失累計額	-		
その他	-		
その他減価償却累計額	-		
その他減損損失累計額	-		
建設仮勘定	20,957,507		
インフラ資産	71,939,570,631		
土地	5,476,462,815		
土地減損損失累計額	-		
建物	9,414,710,378		
建物減価償却累計額	△ 5,740,006,560		
建物減損損失累計額	-		
工作物	135,428,449,215		
工作物減価償却累計額	△ 72,944,895,877		
工作物減損損失累計額	-		
その他	-		
その他減価償却累計額	-		
その他減損損失累計額	-		
建設仮勘定	304,850,660		
物品	6,386,633,001		
物品減価償却累計額	△ 4,615,652,278		
物品減損損失累計額	-		
無形固定資産	5,088,129		
ソフトウェア	4,179,600		
その他	908,529		
投資その他の資産	4,656,585,937		
投資及び出資金	102,876,199		
有価証券	-		
出資金	100,474,000		
その他	2,402,199		
長期延滞債権	435,382,783		
長期貸付金	533,210,873		
基金	3,677,386,086		
減債基金	-		
その他	3,677,386,086		
その他	-		
徴収不能引当金	△ 92,270,004		
流動資産	6,784,905,262		
現金預金	2,664,134,729		
未収金	421,651,476		
短期貸付金	14,722,000		
基金	3,433,016,047		
財政調整基金	2,742,187,047		
減債基金	690,829,000		
棚卸資産	286,962,000		
その他	-		
徴収不能引当金	△ 35,580,990		
繰延資産	-	純資産合計	59,731,225,144
資産合計	117,225,041,861	負債及び純資産合計	117,225,041,861

連結行政コスト計算書

自 平成31年4月1日
至 令和2年3月31日自治体名: 常総市
会計: 連結会計

(単位: 円)

科目名	金額
経常費用	41,313,433,489
業務費用	17,047,985,518
人件費	4,982,651,666
職員給与費	4,364,240,726
賞与等引当金繰入額	346,464,600
退職手当引当金繰入額	△ 13,106,759
その他	285,053,099
物件費等	11,062,801,376
物件費	6,898,753,694
維持補修費	382,833,652
減価償却費	3,775,524,165
その他	5,689,865
その他の業務費用	1,002,532,476
支払利息	497,650,776
徴収不能引当金繰入額	126,382,697
その他	378,499,003
移転費用	24,265,447,971
補助金等	19,765,833,025
社会保障給付	4,436,400,409
その他	63,214,537
経常収益	2,572,682,789
使用料及び手数料	1,848,384,989
その他	724,297,800
純経常行政コスト	38,740,750,700
臨時損失	240,497,838
災害復旧事業費	-
資産除売却損	217,678,838
損失補償等引当金繰入額	10,078,000
その他	12,741,000
臨時利益	63,350,500
資産売却益	61,568,313
その他	1,782,187
純行政コスト	38,917,898,038

連結資金収支計算書

自 平成31年4月1日

至 令和2年3月31日

自治体名: 常総市

会計: 連結会計

(単位: 円)

科目名	金額
【業務活動収支】	
業務支出	37,235,600,320
業務費用支出	12,970,152,349
人件費支出	4,985,953,735
物件費等支出	7,173,398,692
支払利息支出	497,650,776
その他の支出	313,149,146
移転費用支出	24,265,447,971
補助金等支出	19,765,833,025
社会保障給付支出	4,436,400,409
その他の支出	63,214,537
業務収入	39,477,677,037
税金等収入	23,238,264,561
国県等補助金収入	13,981,485,186
使用料及び手数料収入	1,703,493,967
その他の収入	554,433,323
臨時支出	-
災害復旧事業費支出	-
その他の支出	-
臨時収入	-
業務活動収支	2,242,076,717
【投資活動収支】	
投資活動支出	2,203,444,294
公共施設等整備費支出	2,088,030,346
基金積立金支出	106,323,705
投資及び出資金支出	3,243
貸付金支出	9,087,000
その他の支出	-
投資活動収入	1,187,384,689
国県等補助金収入	998,124,195
基金取崩収入	111,859,081
貸付金元金回収収入	21,749,356
資産売却収入	61,568,314
その他の収入	△ 5,916,257
投資活動収支	△ 1,016,059,605
【財務活動収支】	
財務活動支出	4,060,487,294
地方債等償還支出	4,046,359,598
その他の支出	14,127,696
財務活動収入	3,017,185,216
地方債等発行収入	3,017,185,216
その他の収入	-
財務活動収支	△ 1,043,302,078
本年度資金収支額	182,715,034
前年度末資金残高	2,267,842,763
比例連結割合変更に伴う差額	1,356,299
本年度末資金残高	2,451,914,096
前年度末歳計外現金残高	202,842,423
本年度歳計外現金増減額	9,378,210
本年度末歳計外現金残高	212,220,633
本年度末現金預金残高	2,664,134,729

連結純資産変動計算書

自 平成31年4月1日
至 令和2年3月31日自治体名: 常総市
会計: 連結会計

(単位: 円)

科目名	合計	固定資産等形成分	余剰分(不足分)	他団体出資等分
前年度末純資産残高	60,399,220,718	116,137,040,340	△ 55,737,819,622	-
純行政コスト(△)	△ 38,917,898,038		△ 38,917,898,038	-
財源	38,395,406,663		38,395,406,663	-
税金等	23,313,707,755		23,313,707,755	-
国県等補助金	15,081,698,908		15,081,698,908	-
本年度差額	△ 522,491,375		△ 522,491,375	-
固定資産等の変動(内部変動)				
有形固定資産等の増加				
有形固定資産等の減少				
貸付金・基金等の増加				
貸付金・基金等の減少				
資産評価差額	-			
無償所管換等	△ 144,809,316			
他団体出資等分の増加				-
他団体出資等分の減少				-
比例連結割合変更に伴う差額	△ 694,883			-
その他	-			
本年度純資産変動額	△ 667,995,574	△ 2,249,165,694	1,581,170,120	-
本年度末純資産残高	59,731,225,144	113,887,874,646	△ 54,156,649,502	-

省略

令和元年度
一般会計 注記

I. 重要な会計方針

1. 有形固定資産及び無形固定資産の評価基準及び評価方法

① 有形固定資産……………取得原価

ただし、開始時の評価基準及び評価方法については、次のとおりです。

ア. 昭和 59 年度以前に取得したもの……………再調達原価

ただし、道路、河川、及び水路の敷地は備忘価格 1 円としています。

イ. 昭和 60 年度以後に取得したもの

取得原価が判明しているもの……………取得原価

取得原価が不明なもの……………再調達原価

ただし、取得原価が不明な道路、河川、及び水路の敷地は備忘価格 1 円としています。

② 無形固定資産……………取得原価

ただし、開始時の評価基準及び評価方法については、次のとおりです。

取得原価が判明しているもの……………取得原価

取得原価が不明なもの……………再調達原価

2. 有価証券等の評価基準及び評価方法

① 市場価格のある有価証券等……………会計年度末における市場価格

② 市場価格がない有価証券等……………取得原価

ただし、市場価格のないものについて、実質価額が著しく低下した場合には、相当の減額を行うこととしています。

なお、実質価額の低下割合が30%以上である場合には、「著しく低下した場合」に該当するものとしています。

3. 棚卸資産の評価基準及び評価方法

販売用土地……………地方公共団体の財政の健全化に関する法律施行規則第 4 条第 2 項各号に掲げる方法

4. 有形固定資産等の減価償却の方法

① 有形固定資産（リース資産を除きます。）……………定額法

② 無形固定資産（リース資産を除きます。）……………定額法

③ 所有権移転ファイナンス・リース取引に係るリース資産（リース期間が 1 年以内のリース取引及びリース契約 1 件あたりのリース料総額が 300 万円以下のファイナンス・リース取引を除きます。）

……………自己所有の固定資産に適用する減価償却方法と同一の方法

5. 引当金の計上基準及び算定方法

① 投資損失引当金

市場価格のない投資及び出資金のうち、連結対象団体（会計）に対するものについて、実質価額が著しく低下した場合における実質価額と取得価額との差額を計上しています。

② 徴収不能引当金

過去5年間の平均不納欠損率により、徴収不能見込額を計上しています。

③ 退職手当引当金

本年度末に特別職を含む全職員（本年度末退職者を除く）が普通退職した場合の退職手当要支給額に、組合への加入時以降の負担金の累計額から既に職員に対し退職手当として支給された額の総額を控除した額を加算して計上しております。

④ 損失補償等引当金

履行すべき額が確定していない損失補償債務のうち、地方公共団体の財政の健全化に関する法律に規定する将来負担比率の算定に含めた将来負担額を計上しています。

⑤ 賞与等引当金

翌年度6月支給予定の期末手当及び勤勉手当並びにそれらに係る法定福利費相当額の見込額について、それぞれ本会計年度の期間に対応する部分を計上しています。

6. リース取引の処理方法

① ファイナンス・リース取引

ア. 所有権移転ファイナンス・リース取引（リース期間が1年以内のリース取引及びリース総額が300万円以下のファイナンス・リース取引を除きます。）

通常の売買取引に係る方法に準じて会計処理を行っています。

イ. ア以外のファイナンス・リース取引

通常の賃貸借取引に係る方法に準じて会計処理を行っています。

② オペレーティング・リース取引

通常の賃貸借取引に係る方法に準じて会計処理を行っています。

7. 資金収支計算書における資金の範囲

現金（手許現金及び要求払預金）及び現金同等物（3ヶ月以内の短期投資等）を資金の範囲としています。

このうち現金同等物は、短期投資の他、出納整理期間中の取引により発生する資金の受払いを含んでいます。

8. その他財務書類作成のための基本となる重要な事項

① 消費税等の会計処理

税込方式によっております。

② 物品及びソフトウェアの計上基準

物品については、取得価額又は見積価格が 50 万円（美術品は 300 万円）以上の場合に資産として計上しています。

ソフトウェアについても物品の取り扱いに準じています。

③ 資本的支出と修繕費の区分基準

資本的支出と修繕費の区分基準については、金額が 60 万円未満であるとき、又は固定資産の取得価額等のおおむね 10%未満相当額以下であるときに修繕費として処理しています。

II. 重要な会計方針の変更等

1. 会計方針の変更

該当なし

III. 重要な後発事象

該当なし

IV. 重要な偶発債務

1. 保証債務及び損失補償債務負担の状況

他の団体（会計）の金融機関等からの借入債務に対し、保証を行っています。

団体（会計）名	確定債務額	履行すべき額が確定していない 損失補償債務等		総額
		損失補償等 引当金計上額	貸借対照表 未計上額	
茨城県信用保証協会	— 千円	20,654 千円	506,232 千円	526,886 千円
合計	— 千円	20,654 千円	506,232 千円	526,886 千円

2. その他主要な偶発債務

該当なし

V. 追加情報

1. 財務書類の内容を理解するために必要と認められる事項

(1) 一般会計等財務書類の対象範囲

一般会計

(2) 出納整理期間

地方自治法第 235 条の 5 に基づき出納整理期間が設けられている会計においては、出納整理期間における現金の受払い等を終了した後の計数をもって会計年度末の計数としています。

(3) 財務書類の表示金額単位

千円未満を四捨五入して表示しているため、合計金額が一致しない場合があります。

(4) 地方公共団体財政健全化法における健全化判断比率の状況

実質赤字比率	—	%
連結実質赤字比率	—	%
実質公債費比率	10.2	%
将来負担比率	84.8	%

(5) 利子補給等に係る債務負担行為の翌年度以降の支出予定額

利子補給に係るもの	—	千円
P F Iに係るもの	—	千円

(6) 繰越事業に係る将来の支出予定額

継続費遞次繰越額		
(一般会計)	—	千円
繰越明許費		
(一般会計)	798,331	千円
事故繰越額		
(一般会計)	—	千円

(7) 過年度の修正事項

該当なし

(8) その他財務書類の内容を理解するために必要と認められる事項

該当なし

2. 貸借対照表に係る事項

(1) 売却可能資産の範囲及び内訳

ア. 範囲

売却可能資産の範囲は、普通財産のうち活用が図られていない公共資産を対象としています。

イ. 内訳

事業用資産	22,134	千円	(22,134	千円)
土地	6,445	千円	(6,445	千円)
立木竹	—	千円	(—	千円)
建物	15,689	千円	(15,689	千円)
工作物	—	千円	(—	千円)
船舶	—	千円	(—	千円)
浮標等	—	千円	(—	千円)
航空機	—	千円	(—	千円)
その他	—	千円	(—	千円)
インフラ資産	—	千円	(—	千円)
土地	—	千円	(—	千円)
建物	—	千円	(—	千円)
工作物	—	千円	(—	千円)
その他	—	千円	(—	千円)
物品	—	千円	(—	千円)

令和2年3月31日時点における売却可能価額を記載しています。

売却可能価額は、地方公共団体の財政の健全化に関する法律における評価方法によつています。

上記の（ ）内の金額は貸借対照表における簿価を記載しています。

(2) 減債基金に係る積立不足額

— 千円

(3) 基金借入金（繰替運用）

該当なし

(4) 臨時財政対策債

臨時財政対策債は、地方交付税として交付すべき財源が不足した場合に、市において不足額を補てんするため発行する地方債のことです。

臨時財政対策債の元利償還金相当額は、その全額が後年度地方交付税の基準財政需要額に算入されます

貸借対照表計上の地方債当期末残高 30,986,718 千円のうち、臨時財政対策債の当期末残高は 12,985,077 千円となっております。

(5) 地方交付税措置のある地方債のうち、将来の普通交付税の算定基礎である基準財政需要額に含まれることが見込まれる金額

23,063,024 千円

(6) 将来負担に関する情報（地方公共団体財政健全化法における将来負担比率の算定要素）

イ. 標準財政規模	15,146,997 千円
ロ. 元利償還金・準元利償還金に係る基準財政需要額算入額	2,408,313 千円
ハ. 将来負担額	46,936,951 千円
ニ. 充当可能基金額	5,441,590 千円
ホ. 特定財源見込額	1,081,632 千円
ヘ. 地方債現在高等に係る基準財政需要額算入見込額	29,604,030 千円

(7) 地方自治法 234 条の 3 に基づく長期継続契約で貸借対照表に計上されたリース債務金額

80,057 千円

3. 純資産変動計算書に係る事項

純資産における固定資産等形成分及び余剰分（不足分）の内容

① 固定資産等形成分

固定資産の額に流動資産における短期貸付金及び基金などを加えた額を計上しています。

② 余剰分（不足分）

純資産合計額のうち、固定資産等形成分を差し引いた金額を計上しています。

4. 資金収支計算書に係る事項

(1) 基礎的財政収支

1,024,143 千円

(2) 既存の決算情報との関連性

	収入（歳入）	支出（歳出）
歳入歳出決算書	24,077,849 千円	23,169,708 千円
会計の範囲の相違に伴う差額	－千円	－千円
繰越金に伴う差額	▲894,125 千円	－千円
資金収支計算書	23,183,724 千円	23,169,708 千円

繰越金については、歳入歳出決算書では収入として計上しますが、公会計では計上しないため、その分だけ相違します。

(3) 資金収支計算書の業務活動収支と純資産変動計算書の本年度差額との差額の内訳

資金収支計算書の業務活動収支	1,945,052 千円
減価償却費	▲2,273,248 千円
減損損失	－ 千円
徴収不能引当金の増減額	▲10,447 千円
退職手当引当金の増減額	55,090 千円
賞与引当金の増減額	▲2,992 千円
未収金の増減額	7,509 千円
固定資産除売却損益	▲156,331 千円
資本的国県等補助金等	345,933 千円
未払費用の増減額	－ 千円
その他の資産・負債の増減額	▲29,041 千円
純資産変動計算書の本年度差額	▲118,475 千円

(4) 一時借入金

資金収支計算書上、一時借入金の増減額は含まれておりません。
なお、一時借入金の限度額及び利子額は次のとおりです。

一時借入金の限度額	2,000,000 千円
一時借入金に係る利子額	－ 千円

(5) 重要な非資金取引

該当なし

令和元年度
全体会計 注記

I. 重要な会計方針

1. 有形固定資産及び無形固定資産の評価基準及び評価方法

① 有形固定資産……………取得原価

ただし、開始時の評価基準及び評価方法については、次のとおりです。

ア. 昭和 59 年度以前に取得したもの……………再調達原価

ただし、道路、河川、及び水路の敷地は備忘価格 1 円としています。

イ. 昭和 60 年度以後に取得したもの

取得原価が判明しているもの……………取得原価

取得原価が不明なもの……………再調達原価

ただし、取得原価が不明な道路、河川、及び水路の敷地は備忘価格 1 円としています。

② 無形固定資産……………取得原価

ただし、開始時の評価基準及び評価方法については、次のとおりです。

取得原価が判明しているもの……………取得原価

取得原価が不明なもの……………再調達原価

2. 有価証券等の評価基準及び評価方法

① 市場価格のある有価証券等……………会計年度末における市場価格

② 市場価格がない有価証券等……………取得原価

ただし、市場価格のないものについて、実質価額が著しく低下した場合には、相当の減額を行うこととしています。

なお、実質価額の低下割合が30%以上である場合には、「著しく低下した場合」に該当するものとしています。

3. 棚卸資産の評価基準及び評価方法

販売用土地……………地方公共団体の財政の健全化に関する法律施行規則第 4 条第 2 項各号に掲げる方法

4. 有形固定資産等の減価償却の方法

① 有形固定資産（リース資産を除きます。）……………定額法

② 無形固定資産（リース資産を除きます。）……………定額法

③ 所有権移転ファイナンス・リース取引に係るリース資産（リース期間が 1 年以内のリース取引及びリース契約 1 件あたりのリース料総額が 3 0 0 万円以下のファイナンス・リース取引を除きます。）

……………自己所有の固定資産に適用する減価償却方法と同一の方法

5. 引当金の計上基準及び算定方法

① 投資損失引当金

市場価格のない投資及び出資金のうち、連結対象団体（会計）に対するものについて、実質価額が著しく低下した場合における実質価額と取得価額との差額を計上しています。

② 徴収不能引当金

過去5年間の平均不納欠損率により、徴収不能見込額を計上しています。

③ 退職手当引当金

本年度末に特別職を含む全職員（本年度末退職者を除く）が普通退職した場合の退職手当要支給額に、組合への加入時以降の負担金の累計額から既に職員に対し退職手当として支給された額の総額を控除した額を加算して計上しております。

④ 損失補償等引当金

履行すべき額が確定していない損失補償債務のうち、地方公共団体の財政の健全化に関する法律に規定する将来負担比率の算定に含めた将来負担額を計上しています。

⑤ 賞与等引当金

翌年度6月支給予定の期末手当及び勤勉手当並びにそれらに係る法定福利費相当額の見込額について、それぞれ本会計年度の期間に対応する部分を計上しています。

6. リース取引の処理方法

① ファイナンス・リース取引

ア. 所有権移転ファイナンス・リース取引（リース期間が1年以内のリース取引及びリース総額が300万円以下のファイナンス・リース取引を除きます。）

通常の売買取引に係る方法に準じて会計処理を行っています。

イ. ア以外のファイナンス・リース取引

通常の賃貸借取引に係る方法に準じて会計処理を行っています。

② オペレーティング・リース取引

通常の賃貸借取引に係る方法に準じて会計処理を行っています。

7. 資金収支計算書における資金の範囲

現金（手許現金及び要求払預金）及び現金同等物（3ヶ月以内の短期投資等）を資金の範囲としています。

このうち現金同等物は、短期投資の他、出納整理期間中の取引により発生する資金の受払いを含んでいます。

8. その他財務書類作成のための基本となる重要な事項

① 消費税等の会計処理

税込方式によっております。

② 物品及びソフトウェアの計上基準

物品については、取得価額又は見積価格が 50 万円（美術品は 300 万円）以上の場合に資産として計上しています。

ソフトウェアについても物品の取り扱いに準じています。

③ 資本的支出と修繕費の区分基準

資本的支出と修繕費の区分基準については、金額が 60 万円未満であるとき、又は固定資産の取得価額等のおおむね 10%未満相当額以下であるときに修繕費として処理しています。

II. 重要な会計方針の変更等

1. 会計方針の変更

該当なし

III. 重要な後発事象

該当なし

IV. 重要な偶発債務

1. 保証債務及び損失補償債務負担の状況

他の団体（会計）の金融機関等からの借入債務に対し、保証を行っています。

団体（会計）名	確定債務額	履行すべき額が確定していない 損失補償債務等		総額
		損失補償等 引当金計上額	貸借対照表 未計上額	
茨城県信用保証協会	— 千円	20,654 千円	506,232 千円	526,886 千円
合計	— 千円	20,654 千円	506,232 千円	526,886 千円

2. その他主要な偶発債務

該当なし

V. 追加情報

1. 財務書類の内容を理解するために必要と認められる事項

(1) 一般会計等財務書類の対象範囲

一般会計

(2) 出納整理期間

地方自治法第 235 条の 5 に基づき出納整理期間が設けられている会計においては、出納整理期間における現金の受払い等を終了した後の計数をもって会計年度末の計数としています。

(3) 財務書類の表示金額単位

千円未満を四捨五入して表示しているため、合計金額が一致しない場合があります。

(4) 地方公共団体財政健全化法における健全化判断比率の状況

実質赤字比率	—	%
連結実質赤字比率	—	%
実質公債費比率	10.2	%
将来負担比率	84.8	%

(5) 利子補給等に係る債務負担行為の翌年度以降の支出予定額

利子補給に係るもの	—	千円
P F I に係るもの	—	千円

(6) 繰越事業に係る将来の支出予定額

継続費遞次繰越額		
(一般会計)	—	千円
繰越明許費		
(一般会計)	798,331	千円
事故繰越額		
(一般会計)	—	千円

(7) 過年度の修正事項

該当なし

(8) その他財務書類の内容を理解するために必要と認められる事項

該当なし

2. 貸借対照表に係る事項

(1) 売却可能資産の範囲及び内訳

ア. 範囲

売却可能資産の範囲は、普通財産のうち活用が図られていない公共資産を対象としています。

イ. 内訳

事業用資産	22,134	千円	(22,134	千円)
土地	6,445	千円	(6,445	千円)
立木竹	—	千円	(—	千円)
建物	15,689	千円	(15,689	千円)
工作物	—	千円	(—	千円)
船舶	—	千円	(—	千円)
浮標等	—	千円	(—	千円)
航空機	—	千円	(—	千円)
その他	—	千円	(—	千円)
インフラ資産	—	千円	(—	千円)
土地	—	千円	(—	千円)
建物	—	千円	(—	千円)
工作物	—	千円	(—	千円)
その他	—	千円	(—	千円)
物品	—	千円	(—	千円)

令和2年3月31日時点における売却可能価額を記載しています。

売却可能価額は、地方公共団体の財政の健全化に関する法律における評価方法によつています。

上記の（ ）内の金額は貸借対照表における簿価を記載しています。

(2) 減債基金に係る積立不足額

— 千円

(3) 基金借入金（繰替運用）

該当なし

(4) 臨時財政対策債

臨時財政対策債は、地方交付税として交付すべき財源が不足した場合に、市において不足額を補てんするため発行する地方債のことです。

臨時財政対策債の元利償還金相当額は、その全額が後年度地方交付税の基準財政需要額に算入されます

貸借対照表計上の地方債当期末残高 30,986,718 千円のうち、臨時財政対策債の当期末残高は 12,985,077 千円となっております。

(5) 地方交付税措置のある地方債のうち、将来の普通交付税の算定基礎である基準財政需要額に含まれることが見込まれる金額

23,063,024 千円

(6) 将来負担に関する情報（地方公共団体財政健全化法における将来負担比率の算定要素）

イ. 標準財政規模	15,146,997 千円
ロ. 元利償還金・準元利償還金に係る基準財政需要額算入額	2,408,313 千円
ハ. 将来負担額	46,936,951 千円
ニ. 充当可能基金額	5,441,590 千円
ホ. 特定財源見込額	1,081,632 千円
ヘ. 地方債現在高等に係る基準財政需要額算入見込額	29,604,030 千円

(7) 地方自治法 234 条の 3 に基づく長期継続契約で貸借対照表に計上されたリース債務金額

80,057 千円

3. 純資産変動計算書に係る事項

純資産における固定資産等形成分及び余剰分（不足分）の内容

① 固定資産等形成分

固定資産の額に流動資産における短期貸付金及び基金などを加えた額を計上しています。

② 余剰分（不足分）

純資産合計額のうち、固定資産等形成分を差し引いた金額を計上しています。

4. 資金収支計算書に係る事項

(1) 基礎的財政収支

1,024,143 千円

(2) 既存の決算情報との関連性

	収入（歳入）	支出（歳出）
歳入歳出決算書	24,077,849 千円	23,169,708 千円
会計の範囲の相違に伴う差額	－千円	－千円
繰越金に伴う差額	▲894,125 千円	－千円
資金収支計算書	23,183,724 千円	23,169,708 千円

繰越金については、歳入歳出決算書では収入として計上しますが、公会計では計上しないため、その分だけ相違します。

(3) 資金収支計算書の業務活動収支と純資産変動計算書の本年度差額との差額の内訳

資金収支計算書の業務活動収支	1,945,052 千円
減価償却費	▲2,273,248 千円
減損損失	－ 千円
徴収不能引当金の増減額	▲10,447 千円
退職手当引当金の増減額	55,090 千円
賞与引当金の増減額	▲2,992 千円
未収金の増減額	7,509 千円
固定資産除売却損益	▲156,331 千円
資本的国県等補助金等	345,933 千円
未払費用の増減額	－ 千円
その他の資産・負債の増減額	▲29,041 千円
純資産変動計算書の本年度差額	▲118,475 千円

(4) 一時借入金

資金収支計算書上、一時借入金の増減額は含まれておりません。
なお、一時借入金の限度額及び利子額は次のとおりです。

一時借入金の限度額	2,000,000 千円
一時借入金に係る利子額	－ 千円

(5) 重要な非資金取引

該当なし

令和元年度
連結会計 注記

I. 重要な会計方針

1. 有形固定資産及び無形固定資産の評価基準及び評価方法

① 有形固定資産……………取得原価

ただし、開始時の評価基準及び評価方法については、次のとおりです。

ア. 昭和 59 年度以前に取得したもの……………再調達原価

ただし、道路、河川、及び水路の敷地は備忘価格 1 円としています。

イ. 昭和 60 年度以後に取得したもの

取得原価が判明しているもの……………取得原価

取得原価が不明なもの……………再調達原価

ただし、取得原価が不明な道路、河川、及び水路の敷地は備忘価格 1 円としています。

② 無形固定資産……………原則として取得原価

ただし、取得原価が不明なものは再調達原価としています。

2. 有価証券等の評価基準及び評価方法

① 市場価格のある有価証券等……………会計年度末における市場価格

② 市場価格がない有価証券等……………取得原価

ただし、市場価格のないものについて、実質価額が著しく低下した場合には、相当の減額を行うこととしています。

なお、実質価額の低下割合が30%以上である場合には、「著しく低下した場合」に該当するものとしています。

3. 棚卸資産の評価基準及び評価方法

① 販売用土地……………地方公共団体の財政の健全化に関する法律施行規則第 4 条第 2 項各号に掲げる方法

4. 有形固定資産等の減価償却の方法

① 有形固定資産（リース資産を除きます。）……………定額法

② 無形固定資産（リース資産を除きます。）……………定額法

③ 所有権移転ファイナンス・リース取引に係るリース資産（リース期間が 1 年以内のリース取引及びリース契約 1 件あたりのリース料総額が 3 0 0 万円以下のファイナンス・リース取引を除きます。）

……………自己所有の固定資産に適用する減価償却方法と同一の方法

5. 引当金の計上基準及び算定方法

① 徴収不能引当金

過去5年間の平均不納欠損率により、徴収不能見込額を計上しています。

② 退職手当引当金

本年度末に特別職を含む全職員（本年度末退職者を除く）が普通退職した場合の退職手当要支給額に、組合への加入時以降の負担金の累計額から既に職員に対し退職手当として支給された額の総額を控除した額を加算して計上しております。

③ 損失補償等引当金

履行すべき額が確定していない損失補償債務のうち、地方公共団体の財政の健全化に関する法律に規定する将来負担比率の算定に含めた将来負担額を計上しています。

④ 賞与等引当金

翌年度6月支給予定の期末手当及び勤勉手当並びにそれらに係る法定福利費相当額の見込額について、それぞれ本会計年度の期間に対応する部分を計上しています。

6. リース取引の処理方法

① ファイナンス・リース取引

ア. 所有権移転ファイナンス・リース取引（リース期間が1年以内のリース取引及びリース総額が300万円以下のファイナンス・リース取引を除きます。）

通常の売買取引に係る方法に準じて会計処理を行っています。

イ. ア以外のファイナンス・リース取引

通常の賃貸借取引に係る方法に準じて会計処理を行っています。

② オペレーティング・リース取引

通常の賃貸借取引に係る方法に準じて会計処理を行っています。

7. 連結資金収支計算書における資金の範囲

現金（手許現金及び要求払預金）及び現金同等物（3ヶ月以内の短期投資等）を資金の範囲としています。

このうち現金同等物は、短期投資の他、出納整理期間中の取引により発生する資金の受払いを含んでいます。

8. 消費税等の会計処理

税込方式によっております。

ただし、水道事業会計については、税抜方式によっております。

II. 重要な会計方針の変更等

該当なし

III. 重要な後発事象

該当なし

IV. 重要な偶発債務

1. 保証債務及び損失補償債務負担の状況

他の団体（会計）の金融機関等からの借入債務に対し、保証を行っています。

団体（会計）名	確定債務額	履行すべき額が確定していない 損失補償債務等		総額
		損失補償等 引当金計上額	貸借対照表 未計上額	
茨城県信用保証協会	－ 千円	20,654 千円	506,232 千円	526,886 千円
合計	－ 千円	20,654 千円	506,232 千円	526,886 千円

2. その他主要な偶発債務

該当なし

V. 追加情報

1. 連結対象団体（会計）

団体名	区分	連結の方法	比例連結割合
茨城県市町村総合 事務組合	一部事務組合・ 広域連合	比例連結	一般会計等 2.44% 特別会計 5.37%
茨城租税債権管理機構	一部事務組合・ 広域連合	比例連結	1.89%
茨城県後期高齢者医療 広域連合	一部事務組合・ 広域連合	比例連結	2.15%
常総衛生組合	一部事務組合・ 広域連合	比例連結	38.42%
常総地方広域市町村圏 事務組合	一部事務組合・ 広域連合	比例連結	21.54%
茨城西南地方広域市町村圏事務組合	一部事務組合・ 広域連合	比例連結	一般会計等 7.64% 利根老人ホーム特別会 計 7.84% 特殊湛水防除事業特別 会計 12.28%
下妻地方広域事務組合	一部事務組合・	比例連結	一般会計 25.94%

	広域連合		フィットネスパーク・きぬ特別会計 25.94% 城山公苑特別会計 25.87% クリーンポート・きぬ特別会計 26.57% ヘキサホール・きぬ特別会計 25.86% クリーンパーク・きぬ特別会計 25.45%
一般財団法人 水海道あすなろの里	第三セクター等	全部連結	—

連結の方法は次のとおりです。

- ① 一部事務組合・広域連合は、各構成団体の経費負担割合等に基づき比例連結の対象としています。
- ② 第三セクター等は、出資割合等が50%を超える団体（出資割合等が50%以下であっても業務運営に実質的に主導的な立場を確保している団体を含みます。）は、全部連結の対象としています。また、いずれの地方公共団体にとっても全部連結の対象とならない第三セクター等については、出資割合等や活動実績等に応じて、比例連結の対象としています。ただし、出資割合が25%未満であって、損失補償を付している等の重要性がない場合は、比例連結の対象としていない場合があります。

2. 出納整理期間

地方自治法第235条の5に基づき、出納整理期間を設けられている団体（会計）においては、出納整理期間における現金の受払い等を終了した後の計数をもって会計年度末の計数としています。

なお、出納整理期間を設けていない団体（会計）と出納整理期間を設けている団体（会計）との間で、出納整理期間に現金の受払い等があった場合は、現金の受払い等が終了したもものとして調整しています。

3. 財務書類の表示金額単位

千円未満を四捨五入して表示しているため、合計金額が一致しない場合があります。

4. 過年度の修正事項

該当なし

5. 売却可能資産の範囲及び内訳

ア. 範囲

売却可能資産の範囲は、普通財産のうち活用が図られていない公共資産を対象としています。

イ. 内訳

事業用資産	22,134	千円	(22,134	千円)
土地	6,445	千円	(6,445	千円)
立木竹	—	千円	(—	千円)
建物	15,689	千円	(15,689	千円)
工作物	—	千円	(—	千円)
船舶	—	千円	(—	千円)
浮標等	—	千円	(—	千円)
航空機	—	千円	(—	千円)
その他	—	千円	(—	千円)
インフラ資産	—	千円	(—	千円)
土地	—	千円	(—	千円)
建物	—	千円	(—	千円)
工作物	—	千円	(—	千円)
その他	—	千円	(—	千円)
物品	—	千円	(—	千円)

令和2年3月31日時点における売却可能価額を記載しています。

売却可能価額は、地方公共団体の財政の健全化に関する法律における評価方法によつています。

上記の（ ）内の金額は貸借対照表における簿価を記載しています。